



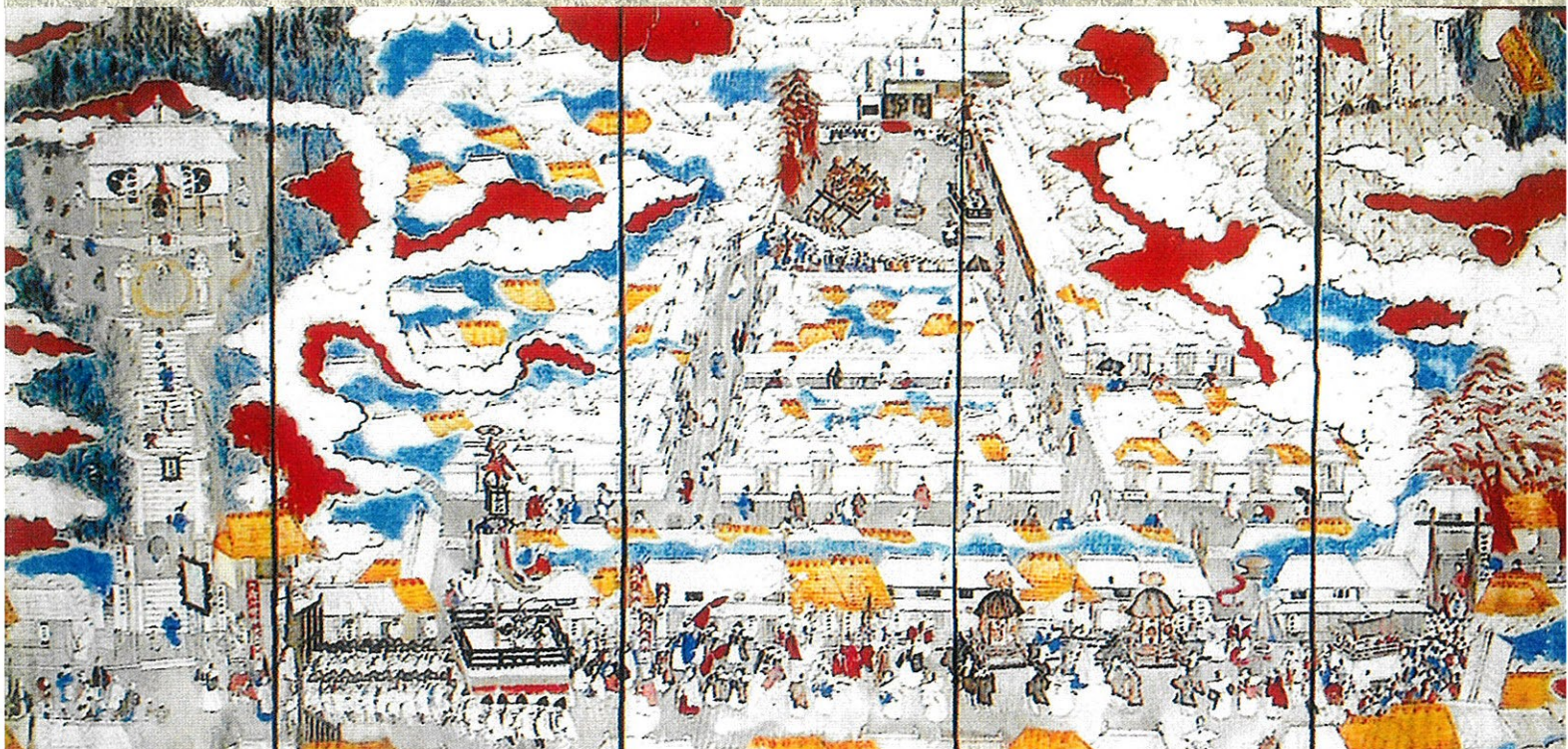
神河咲跡物語

第二章

兵庫県神崎郡神河町

栗賀荘と福本藩を歩く

この地は、奈良時代初の播磨国風土記に記す神前郡波自加村が、福本遺跡の発掘により考古学上の物証と文献が一致する極めて希少価値の高い遺跡として評価され、一万二千年前から人の住む深い歴史を綴めた地域です。近世では福本藩により福本村と栗賀町村が置かれ郡政と商工業の中心として栄えました。



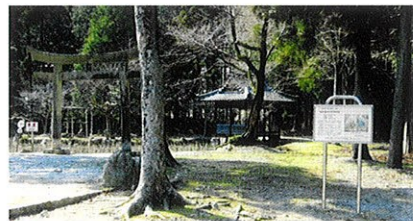
A 福本遺跡(播磨最古の複合遺跡)
一万二千年前の縄文時代から続く遺跡。白鳳時代の瓦窯址が出土。



B 福本陣屋南惣門跡(下馬所跡)
明治三年福本藩廃藩で描いた陣屋町絵図。中茶屋大松の古株を遺す。



C 福本藩陣屋町絵図(大名丁通り)
元禄元年陣屋町の縄張と御殿絵図。福本藩松平家の由来と系図を記す。



D 福本陣屋御殿跡(大歳神社境内)
御殿中央に能舞台を設えた間取りの詳細と、池泉回遊式庭園の絵図。



E 一関山徹心寺(松平家菩提寺)
寛文五年、山崎青蓮寺の日林上人が建立した藩祖輝澄公へ報恩の証。



F 山根古墳群(山根の宮ノ谷山麓)
山根の谷上方に推定六世紀初頭の円墳1号〜3号、谷下方に4号墳。



G 栗賀宿の町並み(栗賀驛の道標)
江戸期の宿場町で屋号も多く遺し近くには驛(うまや)の道標有り。



H 銀の馬車道(栗賀小学校の東門)
藩政時代、宿場町の町並み中心域で、教軒の故民家(県指定他)も見られる。



I 銀の馬車道交流館(旧・但陽信金)
馬車道とその建設の時代に関する資料と模型を展示。火曜日が定休。



J 街道の辻・道標(観音橋畔)
左たじま、右たんば。対岸の馬車道にいま地蔵。東の山坂で播州の犬寺。



K 銀の馬車道(観音橋・旧橋古図)
藩政時代は土橋。馬車道で路面舗装を。道端には電信柱が列なる。



L 金楽山法楽寺(播州の犬寺伝説)
大化改新の時代に創建。主人の命を救う義犬に因む千手観音が本尊。



M 埋田神社(栗賀荘の鎮守-中村)
弘治二年(1556)創建の伝承。境内老樹古株の検証で更に古いと立証。



N 桜華園(かんざき桜の山・博物館)
開花時期の異なる240種・約3000本の桜、10月から翌年5月迄楽しめる。



O 石造五輪塔(加納区・大銀杏下)
姿形、梵字様式、彫法等、県下を代表する古式で、鎌倉中期と推定。

ご案内・お問い合わせ先



神河町田園空間博物館研究会
「咲くまちサロン」まち部会
〒679-3116 兵庫県神崎郡神河町寺前64
神河町地域振興課内
TEL 0790-34-0971 FAX 0790-34-0691



神河町観光協会
〒679-3112 兵庫県神崎郡神河町鍛冶142-47
神河町観光交流センター(カーミンの観光案内所)内
TEL 0790-34-1001 FAX 0790-34-0777

歴史探訪

栗賀荘と福本藩を歩く



歴史探訪ウォーキング

- ①にいの駅から②福山バス停・徒歩約20分【福本遺跡】
- ①にいの駅から③福本バス停・徒歩約25分【大蔵神社=福本陣屋跡】
- ②福山バス停→③福本バス停・徒歩約15分
- ③福本バス停から→馬車道交流館(資料展示館)・徒歩約20分
- 馬車道交流館→【法楽寺本堂】・徒歩約30分
- ①にいの駅から⑥神姫グリーンバスまでバスで10分

歴史探訪・街角の看板を見て歩く

- A・福本遺跡 B・福本陣屋南惣門跡 C・福本藩陣屋町絵図 D・福本陣屋御殿跡 E・一関山徹心寺 F・山根古墳群
- G・栗賀宿の町並み H・銀の馬車道 I・銀の馬車道交流館 J・観音橋の道標 K・銀の馬車道 L・金楽山法楽寺 M・埋田神社 N・桜華園 O・石造五輪塔